

市民海外派遣 ～各コース団長からのメッセージ～

問合せ 海外戦略室 ☎35-3346

今年で23回を数える市民海外派遣事業は、5・6月に実施した英語スピーチコンテストと公募試験(中学生のみ)の優秀者62人がアメリカ、オーストラリア、韓国に渡りました。参加者を代表して各団長の感想文を紹介します。

アメリカコース



ふじた さおり
団長 藤田 沙織 さん
(高山西高等学校1年)

私は、今回の研修に、今まで学んできた英語を生かし、自分から進んでコミュニケーションをとること、生活様式や文化の違いを見つけることを課題として参加しました。ホームステイ先では、家族のみなさんに積極的に話しかけ、日本語にはひらがな・カタカナ・漢字があることを話すと、とても興味を持って聞いてくれました。3日間のホームステイでしたが、実際に現地の方と話し、生活することは、価値観や考え方を知らずには大切なことだと感じました。また、伝えようとする意思や相手のことを理解しようとする気持ちがあれば、英語が十分話せなくても、分かり合うことができるのだと思いました。

2020年には東京オリンピックがあり、世界からたくさんの方が来ますが、私はその時、ボランティアとして働きたいと思っています。今回の研修で実感した習慣や価値観の違いを考えた、きめ細やかなおもてなしができるよう、今後も勉強を頑張りたいです。



オーストラリアコース



たなか さあや
団長 田中 沙采 さん
(高山西高等学校1年)

私は海外に行くことは初めてだったので、とても楽しかったし、この研修で色々なことに気付くことができました。一言で言うと、「日本は色々な面で良いところだ」ということです。2泊3日のホームステイ先では、色々なものを食べさせてくださいましたが、大きなお肉や甘いジュース、ポテトなど全体的にカロリーが高いものが多く、日本の和食や緑茶、和菓子はなんて健康的で美味しいものだったのだと思いました。また、日本では残した食事を翌日に食べたりしますが、向こうではすぐに捨ててしまいます。日本の「もったいない」という考え方は素晴らしいものだと思います。



今回の研修を通して、日本の良さに気付いて、もっとこんな風になったらいいのにと考えるようになり、普段の生活から離れて、普段の当り前のありがたさに気付くことができました。この研修で得たものを今後の生活に生かしていきたいです。

韓国コース



さかうえ しゅんたろう
団長 坂上 駿太郎 さん
(日枝中学校3年)

僕が今回の研修で心に残ったことは二つあります。一つ目は、韓国の料理がとても美味しかったことです。家庭料理をホストファミリーの方にいただきましたが、辛い物だけでなく甘いものや、みずみずしい野菜など、とても美味しいものばかりでした。二つ目は、韓国の人々に親切にいただいたことです。僕は3日目にホームステイ先に向かう途中、自分の荷物を失くしてしまいました。ホストファミリーの方は異変に気付くと、頑張って日本語で話を聞いてくださいました。必死に色々なところに電話をしてくださり、おかげで荷物を見つけることができました。

文化、国の雰囲気、そこにいる人の優しさ、本当に貴重な体験でした。国や文化は違っても僕たちは同じ人間で、日本にも韓国にも優しい人はたくさんいます。この体験を色々な人に伝え、韓国の良さをたくさんの方々知ってほしいと思います。

